

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 16 日

事務事業名 放射能問題に関する事業. 事業区分 新規/継続, 単独/補助. 事務事業No. 050801000227. 所属課 030301 生活環境課. 政策体系 総合計画の施策名 0508 生活環境の保全. 放射線量測定事業. 令和 2 年度

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要. ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 平成23年3月11日の東日本大震災が原因となり発生した津波により福島第1原発事故で漏えいした放射能は、関東地域一帯にまで飛散した。②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 国、県、環境省、消費者庁等からの放射能関連情報の収集、報告。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移. ①手段 (担当者の活動内容) 放射線、放射能測定機器の点検・修繕、測定補助員の管理. ②対象 (誰、何を対象にしているのか) 市民. ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか) 放射線量・放射能濃度など生活域の空間線量や給食食材を測定することで環境及び食の安全を確保する。

(3) 投入量 (事業費) の推移. 30年度 (実績) 01年度 (実績) 02年度 (計画). 期間限定総投入量. 0

01年度事業費 実績 (千円) 02年度事業費 予算 (千円). 01 報酬 777 01 報酬 822. 09 旅費 20 03 職員手当等 113. 11 需用費 9 09 旅費 20. 12 役務費 506 11 需用費 9. 12 役務費 506. 合計 1,312 合計 1,470

事務事業名	放射能問題に関する事業	事務事業No.	50801000227	所属課	生活環境課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成23年3月11日の東日本大震災が原因となって発生した福島第1原発事故で漏えいした放射能は、関東一帯に飛散降下した。今後放射線量が減少するまでの期間にわたって空中線量や学校給食、農産物等の放射線量及び放射能の測定し、その数値を公開し、住民の安心・安全を確保する。最近の空中線量については、原発事故の影響は無い様な数値になってきている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 放射能物質による環境汚染は、未だかつて経験の無かったものであり、県内にも汚染物質が降下した。検出された線量は福島県とは比較にはならない程低いが、地域の住民には精神的な不安と共に風評被害による経済的な損失を与えていることから、線量計の貸し出しや学校給食材、農林水産物等の食品検査を実施し、安全と安心を認識しながら環境意識を高める。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 放射能物質による環境汚染は、地域の住民に精神的な不安と共に風評被害による経済的な損失を与えていることから、線量計の貸し出しや学校給食、農林水産物等の食品検査を実施し、安全と安心を認識しながら環境意識を高める。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 放射能汚染は、市内全域全市民の不安であり、それらを解消して安心と安全を提供することは行政の責務である。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 福島県内や県内の一部の市町村と比較して放射能の濃度が低かったことが幸いして、最近では空中線量の借用申請や、農産物品の測定も減少傾向にある。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民の安心と安全が確保されない。特に学校給食の安全には不可欠である。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 検体測定しか方法がない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 給食を対象としているので現在の測定日数は減らせない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 適正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	国の検査基準を超えた検体は、学校給食においては0であった。 一般の検体においては0であった。 現在も市民から放射能を心配する声があるため、継続していくべき事業である。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果	⑦																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>